

I-1

企業による若者の募集・採用等に関する動向について

若者の雇用については、毎年春期に大量の新規学卒者を採用するという新規一括採用が幅広く行われているところですが、近年の若者の人材確保難時代において、企業によっては、新規学卒者のみならず、既卒者やフリーターまで対象を拡げて募集・採用を行っているケースも多く見受けられるようになってきています。また、若者の人材の確保とい

う観点から、自社の非正規社員を正社員に登用する制度を導入している企業も多く見受けられます。

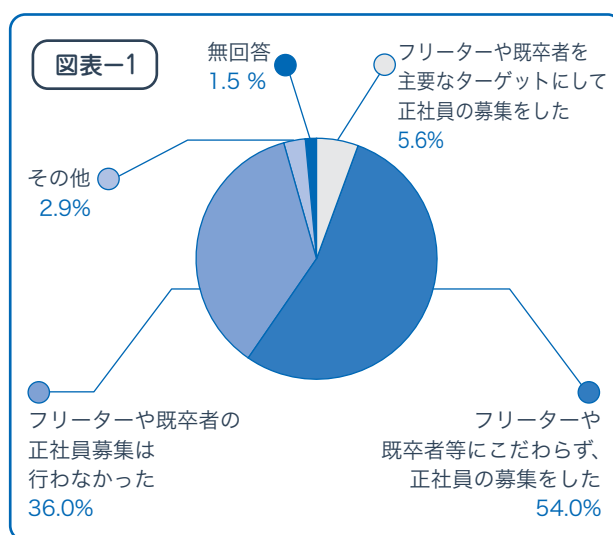
本好事例集の作成にあたり、全国から無作為抽出した1万社を対象に実施したアンケート調査結果（以下、「アンケート調査結果」という。）によると、若者の募集・採用等について、以下の現状が見られます。

過去一年間に、フリーターや既卒者を正社員として募集した実績のある企業は約6割

「フリーターや既卒者を主要なターゲットとして正社員を募集した」（5.6%）と「フリーターや既卒者等にこだわらず正社員の募集をした」（54.0%）を合わせると、約6割（59.6%）の企業で、過去一年間にフリーターや既卒者を正社員として募集していることがわかります。

図表-1

過去一年間にフリーターや既卒者を正社員として募集した実績



過去一年間に、フリーターや既卒者を正社員として募集した実績のある企業のうち、7割以上の企業が「フリーターや既卒者を採用した実績がある」と回答

「フリーターや既卒者を採用した実績がある」と回答した企業は、73.4%と7割を超えています。

図表-2

過去一年間にフリーターや既卒者を採用した実績の有無

